

タイトル：イキってたダメな夫が妻に離婚されて何もかも失う話

- 【シーン1】実家でゴロゴロ、嫁はこき使われて嫌味
- 【シーン2】自宅で嫁に説教してプチギレられる夫
- 【シーン3】酒を飲んでいる間に嫁が出ていく
- 【シーン4】反省
- 【シーン5】嫁を探す
- 【シーン6】家事がまったくできない
- 【シーン7】子供に馬鹿にされる
- 【シーン8】嫁の教育が良かったことを知る
- 【シーン9】嫁と結婚したときのことを思い出す
- 【シーン10】嫁が離婚届けとともに帰宅
- 【シーン11】回想、実家で同居の話をする俺と母
- 【シーン12】子供を連れてでていく嫁
- 【シーン13】嫁がいなくなった後の生活
- 【シーン14】離婚の話し合い
- 【シーン15】諦めた表情の嫁と息子
- 【シーン16】子供を抱いて不妊治療に行く太った嫁

登場人物

俺：

嫁：

母：

息子：

【シーン1】実家でゴロゴロ、嫁はこき使われて嫌味

〈コマ1〉ソファでビールを飲む
俺「実家はやっぱ落ち着くわ～ww」

〈コマ2〉居酒屋で友達と飲む
俺「地元で飲むのは最高！ww」

〈コマ3〉嫁に嫌味を言う母
母「ルンバより掃除ができないなんて・・・」
嫁「・・・」

【シーン2】自宅で嫁に説教してプチギレられる夫

〈コマ1〉言い合う夫婦
嫁「なんであんな風に言われるのに行かなきゃいけないの!？」
俺「男は社会に出てクソ上司や客に理不尽な目に合わされる!!あの程度で文句言うなんてこれだから専業主婦は!」

嫁「サラリーマンなら給料があるでしょ！」
「上司や客に頭を下げても、下げた分だけ給料も貰えるじゃない！」
「私はアンタにもアンタの親にも雇われているわけじゃない！」

〈コマ2〉キレル嫁

嫁「お金ももらわず頭だけ下げろって奴隷になれって事か？そんなプレイは真っ平御免だバカ！」

俺『嫁は深夜なのにそのまま失踪。昨日から心当たりを探しまくっているが全く見つからない。何が原因なのかさっぱりわからない。俺が悪いのか！？』

【シーン3】酒を飲んでいる間に嫁が出ていく

〈コマ1〉酒を飲んでいる、玄関のドアが閉まる音

俺「あれ、トイレかな？」

〈コマ2〉酒を飲んでいる、車のエンジン音

俺「ん？」

〈コマ3〉空っぽの嫁の部屋に驚く

俺「え！？何もないじゃん！」

【シーン4】反省

俺「まあ、よく考えたら嫁の実家にはロクに顔出してなかったし
嫁は子供ができた時も実家には帰らなかったから、結婚してから10年ちょっと自分の実家には行ってない。そういうのが不満で俺を妬んでたんだろうなあ」

【シーン5】嫁を探す

〈コマ1・2〉色々な場所を探し回る

俺「もう二日も寝てない。嫁がいなくなるなんてさすがに初めてだし探しまくってフラフラだ…」

〈コマ1〉嫁実家に電話、ガチャ切り

俺「嫁が帰ったりしてませんか？」

義母「嫁ちゃんに何かあったの！？連絡はくれるけど1回も帰ってこないし心配なの！」

【シーン6】家事がまったくできない

〈コマ1〉炊飯器はあるが米の炊き方が解らない。

俺「米ってどうやって炊けばいいんだ？」

〈コマ2〉母親に聞く

母「飯の炊けない亭主をほったらかしにして嫁は何を考えているのか。そんな嫁とはさっさと離婚すればいい。新しい嫁は私達が探してあげるから任しておきなさい」

俺『とんでもないのは俺と俺の実家だと今さら分かったかもしれない。』

【シーン7】子供に馬鹿にされる

〈コマ1〉眠そうな俺、冷たい息子

俺「ずっと寝ずに母さんを探してるんだ。眠い。もう疲れたよ。」

息子「パトラッシュかよ」

〈コマ2〉カップ麺を食べようとするもガスが点けられない。

俺「(舌打ち)どうやったら火が着くんだよ…」

息子「ガスは押しながら回さないと火が点かないんだよ」

【シーン8】嫁の教育が良かったことを知る

〈コマ1〉俺が作った目玉焼きを捨て、きれいな目玉焼きを作る息子

息子「あとさ、目玉焼きを作るときはフライパンに油を入れるといいよ」

俺「ああ、そうなのか」

〈コマ2〉

俺『この時どれだけ俺が嫁や家事、家庭のことに興味がなかったか良くわかった』

【シーン9】嫁と結婚したときのことを思い出す

〈コマ1〉結婚した頃の写真を見つける

俺「そういえばこんな風に笑う嫁だったんだよな…」

〈コマ2〉子供が大きくなる度に撮った写真に自分が写っていない

俺「俺は今まで何をしてきたんだろう」

俺『浮気したこともあったけど、俺は家庭をちゃんと守っている、ちゃんとした男だと思ってた。けど子供の誕生日すら一緒に祝った事がないのに気付いて鳥肌が立った』

【シーン10】嫁が離婚届けとともに帰宅

〈コマ1〉離婚届けを差し出す嫁、疲れ気味だけど生き生きしてる

嫁「子供が転校しなくても私が職場を変えなくても続けられる場所に住める家を見つけた、後はこの書類に貴方がサインして離婚するだけだ」

俺「男ができたのか？」

〈コマ2〉呆れる嫁、キレる俺

嫁「馬鹿じゃないの？私、今年40のおばさんだよ？」

俺「俺が悪かったのは解るけど何がどうしていきなり離婚にまでなるんだ！」

嫁「それが分からないぐらい鈍いところが嫌なのよ」

俺『嫁の怒りが頂点に達したのは同居の話だったらしい』

【シーン11】回想、実家で同居の話をする俺と母

〈コマ1〉実家で同居の話

母「息子くんも同じ学校に行けば同居できるじゃない！あなたも通勤圏内だし長男なんだからちょうどいいわね！」

俺「ああ、そうだな」

〈コマ2〉謝る俺、拒否する嫁

俺「悪かった、話し合おう」

嫁「無意識でも私の立場が弱い事を利用して、あなたもあなたの実家も私を蔑ろにしてきたでしょう。人は変わらないものだし、私はもう我慢したくない！」

俺『嫁は第三者を立てて離婚について話し合う用意があると宣言した。

明日、その席は設けられる予定だそうだ。俺は黙って受け入れるしかなかった』

【シーン12】子供を連れてでていく嫁

息子「俺はもちろん母さんについていくから」

嫁「これまでの行いを反省しているのなら養育費ぐらいはちゃんと払ってよね」

【シーン13】嫁がいなくなった後の生活

〈コマ1〉玄関で近所の幸せそうな家庭を眺める

〈コマ2〉枯れた植物と近所の奥さん

近所の人「奥さん元気？この間から姿が見えないし植物もこんなだし…入院とかなさってるの？奥さんが帰ってくるまで私がお水を上げましょうか？うちが旅行の時とか、奥さんにお世話になってたし」

『嫁がそんな風にご近所付き合いをしていたなんて初耳だった』

【シーン14】離婚の話し合い

〈コマ1〉すぎる俺、諭すように話す嫁

俺「これまで君がどんな不満を持っていたのか話してくれ。反省したいし改善したい」

嫁「私は今までずっと伝えてきたつもりだったけど、何も伝わってなかったってことなのね。

あなたの為に嫌な記憶を思い出す必要が、まだ私にあるのかしら」

嫁「”今”はあなたに反省も改善も求めてないの。私が”今”あなたに求めているのはサインをすることだけ」

〈コマ2〉あきらめない俺、あきれた嫁

俺「サインしたくない。離婚したくない。子供を手放したくない」

俺「何より君と別れたくない。愛している」

嫁「いい歳して子供みたいに、全部あなたの都合でしょ」

嫁「結局私がしたいことはすべて否定するワガママさは変わらないのね」

【シーン15】諦めた表情の嫁と息子

〈コマ1〉

嫁「私は幸せになろうと思って結婚したけど、子供を産んだこと以外、あなたと結婚して幸せだった点はないよ。17年間暮らしてきて、貴方は歳をとった事以外変わってない」

息子「俺もこんな父親なら別にいらないしね」

〈コマ2〉浮気がバレてて驚く俺

嫁「あなたは、私は子供を産む機械、楽しむのは他の若い女って思ってたんでしょ。だから私には興味が無かったのね」

俺「全部お見通しだったのか？」

【シーン16】子供を抱いて不妊治療に行く太った嫁

〈コマ1〉若い女と浮気する俺

俺『その当時俺は嫁以外の女の事を考えていた。小学校1年生の子供を抱えて、嫁が不妊治療でいっぱいになっている状況は別の女に時間を使うのにとっても都合が良かったからだ。』

〈コマ2〉

嫁「ごめんなさいね、私が不妊治療で太ってたから浮気してたのよね」

俺「俺はてっきり幸せ太りなのかと・・・」

〈コマ3〉

嫁「あなたはこれだけのことをしてきたの。もうムリだって分かった？」

俺「すまなかった。家も貯金も渡して離婚するよ」

俺『こうして俺は離婚することになった。嫁が何も言わないことに調子に乗ってると最後にして何もかも失うことになるからみんなも気を付けてくれ』

撮影終了後の楽屋